

# Webデザイン入門 Workbook



## 「このワークブックの使い方」

ワークブックをお受け取りいただき、ありがとうございます(^^)

＜ブログを見ながら無料で学習できるワークブックです!＞

こちらのワークブックは、私のブログ「おうちでわーく」を見ながら無料でWeb制作・Webデザインの基礎が学習できるようになっています。

👉 URLはコチラ → <https://ouchi-de-work30.com/>

このアイキャッチのブログ記事に学習リストがまとめてあります!



## ＜ワークブックの使い方＞

上記ブログの学習リストと同じ順番でワークシートが作られているので、該当する記事を見ながらワークシートの穴埋めをしていくと、重要ポイントをチェックしながら学習ができるようになります!



答えはワークシートの右下に逆さに書いてあります!

「目次」

1. Web制作の仕事の全体像を把握しよう!	.....P.3
2. WordPressがおすすめな理由	.....P.5
3. WordPressとは?特徴と仕組みを知ろう	.....P.7
4. Webサイトの種類	.....P.9
5. Webサイトのレイアウトに必要な基本パーツ	.....P.12
6. セクションと見出し	.....P.14
7. デザイン4原則	.....P.16
8. フォントとタイポグラフィ	.....P.19
9. Webサイトで使う色、カラーコード	.....P.21
10. 初心者でも迷わない配色の決め方(70:25:5の法則)	.....P.24
11. UI/UX、ユーザビリティとは?	.....P.27
12. レスポンシブデザインとモバイルフレンドリー	.....P.30
13. Web制作で稼ぐ6ステップ(ロードマップ確認)	.....P.32

「①Web制作の仕事の全体像を把握しよう!」

<Webサイト制作の仕事について最初に知る必要性>

- 自分がどこを目指すのか }を知るために流れを把握しておく!
- どんなスキルが必要なのか

**Point!!** → サイトを作る工程はたくさんある。学習を始める前にある程度把握しておかないと、思っていたのと違う...となってしまう可能性がある。

<Webサイトができる6つのステップ>

◆ Web制作で活躍する人たち

- 主な3つの職種
- ( ) ...チームの責任者
  - ( ) ...デザインをする
  - ( ) ...重くようにする



◆ Web制作の6つのステップ

(STEP①:ヒアリング・企画)

...クライアントと打ち合わせをして、どんなサイト(目的やコンセプト)がほしいか聞く。

→主に担当する人( )



(STEP②:Webサイト全体の設計)

...クライアントの目的を達成するために、サイトの構成やラフ案(ワイヤーフレーム)を制作する。

→主に担当する人( )





「WordPress指定」の仕事が多いのも嬉しいポイント。

例えば、クラウドワークスでは「ホームページ制作・Webデザイン」カテゴリの中に「WordPress制作・導入」という小カテゴリが設けられている。



Point!!  
せっかく勉強するのなら、( )の高いスキル獲得から始めるのがおすすめ。

◆②拡張性が高く、成長しやすい

→WordPressのもう一つの魅力は( )の高さ。

- ブログ
  - 企業サイト
  - ネットショップ etc...
- Point!!  
目的に合わせて幅広く対応できる!

様々なサイトに対応できるということは、スキルアップしやすく、収入アップにも繋がる。

◆③オープンソースだから、AIなどの新技術との相性も◎

→WordPressは( )と呼ばれる仕組みのソフト。世界中のプログラマーたちが改善・進化を続けているため、トレンドを取り入れやすい。

「③WordPressとは？特徴と仕組みを知ろう」

<WordPressの構造を理解する必要性>

そもそも、使い方だけでなく、「仕組み」まで理解する必要があるのか？

Point!!  
仕事として取り組みたいなら、概要だけでも学んでおく必要がある。

- 理解しておくメリット
- カスタマイズの幅が広がる
  - トラブル対応がスムーズになる
  - サーバーやドメインを触るときに困らない

<WordPressでできること>

→基本的にどんなサイトでも作れる。

それを可能にしているのが、主に( )と( )。これらの働きにより、本来なら難しいプログラミングが必要な設定も、ボタン一つで可能にしてくれる。

<WordPressの仕組み>

WordPressは、( )・( )・( )という

3つの要素から成り立っている。

- Point!!
- コア…WordPress本体。
  - テーマ…見た目を決めるもの。
  - プラグイン…昨日を追加するもの。



※テーマには、プログラムして作る「オリジナルテーマ」と、既に公開されている「既存テーマ」があるが、ノーコード制作の場合は自ずと既存テーマを扱うことになるので覚えておく。

<WordPressとはの動き方>

WordPressは( )というプログラミング言語でできている、サイト内の情報は( )<sup>マイ・エスキューエル</sup>(MySQL)に保存される。

1. リクエスト…見たいページをクリック
2. 取得…情報をデータベースに取りに行く
3. 出力…情報をWordPressへパス
4. 生成…リクエストされたページを作る
5. レスポンス…見せてあげる



→ちなみに、このようにアクセスされるたびにその場でページを作る仕組みを( )サイトと呼ぶ。

静的サイト  
と  
動的サイト

- 静的サイト…いつ誰が見ても、保存されている「同じファイル」が表示される。(昔ながらのホームページやLPなど)
- 動的サイト…見に来た瞬間に、データベースから情報を取ってきて「その都度」ページを作る。(WordPressなど)

「④Webサイトの種類」

<ホームページとは?>

「ホームページ」や「Webサイト」呼び名の違いと実態は関係するの?



基本的に気にしなくてOK!

- 一応覚えておこう!
- ホームページ…「トップページ」を指すことがある。
  - Webサイト…トップページも含むサイト一式。

<Webサイトの種類>

◆①コーポレートサイト(企業サイト)

→企業の( )を伝えるためのサイト。

◆②ブログサイト・オンラインメディア

→自社のノウハウや役立つ情報を発信して、ユーザーとの関係を築くためのサイト。

◆③LP(ランディングページ)

→( )ページで完結する縦長のページで、特定の商品やサービスを強力にアピールするサイト。

◆④ECサイト(ネットショップ)

→ユーザーが商品を選んでカートに入れ、( )できるシステムを持ったサイト。

◆⑤リクルートサイト(採用サイト)

→( )に特化したサイト。

## ◆⑥ブランドサイト

→ブランドのストーリーやイメージを発信するためのサイト。

### <Webサイトの実例を見る>

→参考になるWebサイトを集めた( )を見てみると、いろんなジャンルやデザインのサイトを一瞥で確認することができる。

例えば、「SANKOU!」というギャラリーサイトなら、「カテゴリ検索」から「サイトの種類」で絞り込みができる。



引用) SANKOU!

<https://sankoudesign.com/>

<大事ななのは“種類”でなくWebサイトを作る「目的」>

◆言葉の意味より「目的」を大事にする

- ∴ (Point) →
- Webサイトの種類をはっきりと分類するのは難しい。
  - 依頼主の依頼内容が正しいとも限らない。

◆「おうちでわーく」で勉強すると作れるようになるサイト

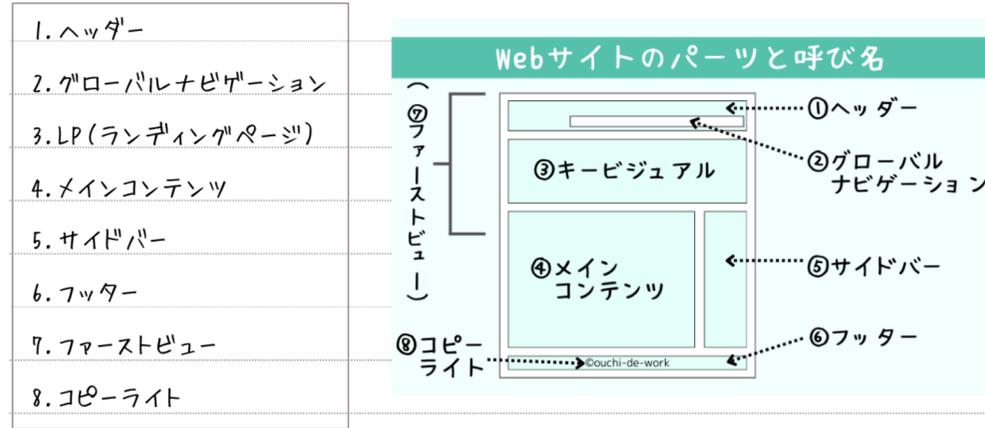
→( )向けのサイト。

※コンシューマー向け…( )向けのこと。

<ul style="list-style-type: none"> <li>• コーポレートサイト(企業サイト)</li> <li>• ブログサイト・オウンドメディア</li> <li>• LP(ランディングページ)</li> </ul>	などが当てはまる。
--	-----------

## 「⑤Webサイトのレイアウトに必要な基本パーツ」

<Webサイトの基本のパーツと名称を覚えよう>



※コンテンツ…「サイト中身を構成する情報全体」のこと。(サイトに載せる文章や画像。)

(①ヘッダー～⑥フッターまでは、図のまま覚えていただければ大丈夫なので穴埋め問題はありません。)

### ◆⑦ファーストビュー

※コンテンツ…ページが読み込まれた際に最初に表示される画面の範囲。特定のパーツを指す言葉ではなく、サイト全体の( )を定める重要な領域として使われる言葉。



*Point!!* サイトの印象を決定づける重要なエリアのため、サイトを制作する時には意識する!

### ◆⑧コピーライト

コピーライトは( )を表示するためのテキストで、通常( )に表示される。「©」マーク、著作物の発行年、著作権者の氏名や会社名といった情報が含まれる。

※コピーライトは法的に必ず書かないといけないものではない。しかし、意思表示や慣習的に書いておくのが望ましい。

その際、「All Rights Reserved.」は省略するのが最近では主流。

Point!!  
おすすめの書き方 → © 著作物の発行年 著作権者の氏名や会社名



# 「①デザイン4原則」

<デザインとは何だろう？>

◆デザインとは？

私たちの身のまわりにはたくさんのデザインが存在している。見た目の美しさだけでなく、( )や( )を考えて作られている。

例)駅の案内板が見やすく整理されているのも、誰かが「迷わず移動できるように」と考えて設計したから。

◆Webデザインとは？

Webデザインも考え方は同じで、Webサイトの見た目や使いやすさを設計することを指す。色やレイアウト、文字の大きさ、リンクボタンの配置など、一つひとつの要素を訪れる人が迷わず情報を見つけられるように配置する必要がある。

Point!!

見た目が整っているだけでなく、情報が分かりやすく整理されていて、( )に操作できるサイトが「良いWebデザイン」と言えるでしょう。

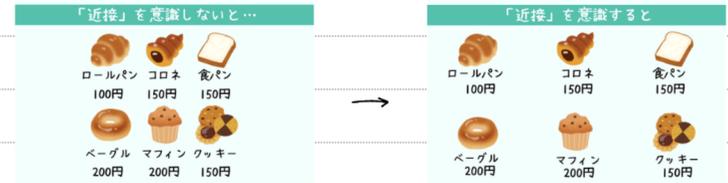
→Webデザインは芸術的センスがないとできないわけではない。サイトを訪れた人が( )なく必要な情報にたどり着けるようにすることが大事。

<デザイン4原則>

- デザイン4原則
- ( )
  - ( )
  - ( ) ※順番の覚え方の決まりはありませんが、ブログを参考にした順で書いていただくと分かりやすいです。
  - ( )

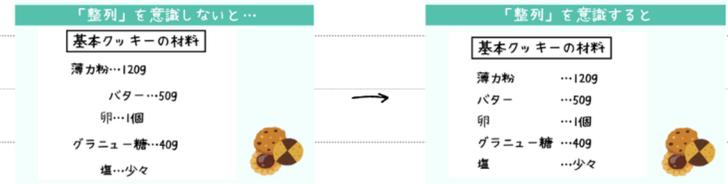
◆①近接

→関連する要素を互いに( )配置し、関連のない要素を( )配置することで、情報を整理して伝える原則。



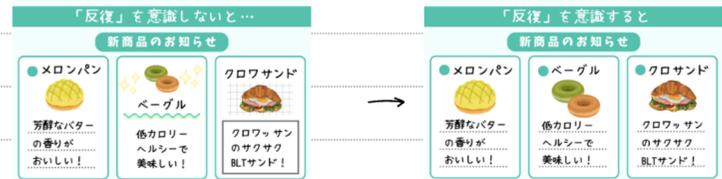
◆②整列

→各要素を意識的に整えて配列する法則。要素が「見えない( )」に沿って整列されているイメージ。



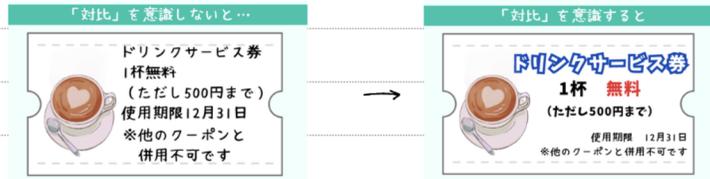
◆③反復

→一貫性を保つために、同じデザイン要素を( )使う。これにより、サイトがまとまり、洗練された印象を与える。



## ◆④対比

→対比は、見せたい要素や重要な部分を際立たせるために、色やサイズ、フォントの大きさなどで( )をつけるテクニック。



## &lt;Webデザインにおける4原則の使い方&gt;

→4原則を常に同時に使わないといけないわけではない。状況やデザインの目的に応じて、( )に取り入れるのが大切。

## &lt;センスは“知識”から生まれる&gt;

→デザインは芸術的な才能だけでなく、「相手にわかりやすく伝えるためのスキル」。

: Point

つまり、知識を身につけて経験を積み、誰でも上達できる。

センスを高めるためのおすすめの方法は、「( )のデザインを観察すること」。

## 「⑧フォントとタイポグラフィ」

## &lt;フォントって何?明朝体とゴシック体&gt;

→フォントとは、簡単に言うと「文字の( )」のこと。

## ◆①明朝体

明朝体(みんちょうたい)は、細くて繊細な線と、筆で書いたような小さな飾り(「ウロコ」と呼ばれる三角形)が特徴のフォント。

→落ち着いた( )な雰囲気がある。



## ◆②ゴシック体

ゴシック体は、線の太さがほぼ同じで、シンプルでスッキリした見たいが特徴のフォント。

→飾りがなく、はっきり読みやすいので、( )なデザインでよく使われる。



## ◆フォントをWordPressサイトで使う方法

WordPressの一般的なテーマを使用してサイトを作る際は、テーマの仕様にもよりますが、基本的に簡単に「フォントの設定」ができるようになっている。

## &lt;タイポグラフィ入門&gt;

→タイポグラフィとは、文字を「( )」、魅力的に見せる」デザインのテクニックのこと。フォントを選ぶだけでなく、文字の大きさや間隔、配置を工夫することで、Webサイトやブログがグッと使いやすくなる。

## ◆①文字サイズ

→文字サイズは、( )と印象を決める基本の適切なサイズを選ぶことで、Webサイトの印象が向上する。

- 見出し(h2)・・・24～32pxくらい
- 小見出し(h3)・・・20～24pxくらい
- 本文・・・16～18pxくらい

## ◆②行間

→行間は「行と行の間隔のこと。読みやすさを高める重要な要素。文字サイズの( )倍(例:文字サイズ16pxなら行間24px)を目安に設定すると、読みやすくなる。

## ◆③文字の色とコントラスト

→文字の色は黒や濃いグレー(例:#333)が読みやすく、背景とのコントラストを強く(例:白背景に黒文字)することで( )が向上する。

## 「④Webサイトで使う色、カラーコード」

### <Webサイトにおける“色”の大切さ>

Point!! → Webサイトを訪れたとき、「色」は、無意識のうちに( )を左右する大きな要素のひとつ。

- 見出し(h2)・・・24～32pxくらい
- 小見出し(h3)・・・20～24pxくらい
- 本文・・・16～18pxくらい

### <色ごとの印象>

Point!! → 色にはそれぞれ「イメージ」や「心理的な印象」を与える働きがある。Webサイトでは、伝えたい( )やブランドの方向性に合わせて色を選ぶことが大切。

青	信頼・誠実・冷静・清潔	金融・IT・病院・企業サイトなどコーポレートサイト・医療系など
赤	情熱・エネルギー・注意	飲食・セール・エンタメ系など
緑	安心・自然・調和	医療・農業・オーガニック系など
黄	元気・注意・希望	子ども向け・注意表示・POP系
黒	高級感・重厚・モダン・シック	ファッション・アート系など
白	清潔感・余白・シンプル・純粋	どのジャンルでも相性がよい

### <カラーコードとは?>

→ Webサイトの色のは( )を使って指定する。そうすることで、同じ“赤”でも色味の違いを表現することができる。

例) #ff0000 → ( ● ) / #e86b79 → ( ● )

## ◆カラーコードの表記の仕方

→カラーコードは、「#(ハッシュ)」のあとに「( )桁の英数字」を組み合わせて、色を指定する。

- #000000 → 黒
- #ffffff → 白 → このように、( )で指定する。
- #ff0000 → 赤

## ◆カラーコードの基本(16進数)

→#(ハッシュ)に続く、6桁の英数字…赤(Red)、緑(Green)、青(Blue)の強さを表現している。

※暗記の必要はない。コピーで使うことが多い。



## &lt;ColorZillaを使ってカラーコードを調べてみよう&gt;

→カラーコード(16進数カラーコード)は、理論上 約1,677万色ある。よって、よく使う色以外は暗記するのが難しい。

ブラウザ拡張機能「ColorZilla」の Google Chromeに追加することで、画面上のどこにある色でも、ワンクリックでカラーコードを取得できる。

1. Chromeウェブストアで「ColorZilla」と検索
2. 「ColorZilla」をChromeに追加
3. ブラウザの右上に「パズル」のアイコンがあるのでクリックし、ピン留めしておく
4. 色を調べたいWebサイト上でColorZillaのアイコンをクリックすると、カラーコードがクリップボードにコピーされる。

## &lt;カラーコードを調べるおすすめサイト&gt;

## ◆①HTML Color Codes

→英語のサイトだが、直感的に操作できる画面構成が特徴。「Picker」で色を選ぶと、リアルタイムでカラーコードが表示される。

<https://htmlcolorcodes.com/>

## ◆②原色大辞典

→シンプルな構成で、鮮やかな色から淡い色まで幅広く揃っているのが特徴。カテゴリ(赤系・青系など)からも選べて、色探しがスムーズ。

<https://www.colordic.org/>

## ◆③Adobe Color(カラーホイール)

→Adobeが提供する無料のカラー作成ツール。色の組み合わせ(カラースキーム)を作りたい時に特に便利で、プロも使う本格派ツール。

<https://color.adobe.com/ja/create/color-wheel>



## <WordPressテーマを使うときの配色の考え方>

◆背景色とメインカラーを設定すればOK

→使用するテーマにもよるが、一般的に「背景色」と「メインカラー」を設定すれば、きれいに配色されたサイトができるようになっている。

※絶対に3色使わないといけないという訳ではない。

◆視認性の高い組み合わせにする

**Point** → Webサイトの配色において大切なのは、見た目の美しさだけでなく、文字や画像などのコンテンツの見やすさ。文字が読みにくい色の組み合わせや、コントラストが弱すぎる背景と文字色だと、ユーザーにストレスを与えてしまう。

コントラストが( )した色を選び、「視認性」の高い配色を心がける。

## <背景色とメインカラーのおすすめ組み合わせ例【10選】>

- |  |  |
|--|--|
| 1. 白 (#FFFFFF) / ネイビーブルー (#1D3557)       |  |
| 2. 白 (#FFFFFF) / ティーパグリーン (#2A6041)      |  |
| 3. 淡いグレー (#F7F7F7) / ダークオレンジ (#D2691E)   |  |
| 4. 淡いグレー (#F7F7F7) / レッド (#E63946)       |  |
| 5. 明るいグレー (#F5F5F5) / マスタード (#D4A017)    |  |
| 6. クリーム色 (#FFF8E7) / ブラウン (#6B4226)      |  |
| 7. クリーム色 (#FFF8E7) / ティーパパープル (#5D3A9B)  |  |
| 8. ミントホワイト (#F5FFFA) / ティーパブルー (#006494) |  |
| 9. パールピンク (#FFF0F5) / ワインレッド (#8B0000)   |  |
| 10. 淡いグレー (#AFAFA) / ブラック (#333333)      |  |

## 「⑩UI/UX、ユーザービリティとは？」

<「UI」「UX」「ユーザービリティ」とは?> **Point**

【重要】Webサイトを作る目的→( )のため。

- 例
- お店やサービスを知ってもらうため
  - 商品を売るため
  - お問い合わせや予約をもらうため



せっかくサイトを作っても...

- 
- 情報がごちゃごちゃしていて、どこを見ればいいのか分からない
  - スマホで開いたらボタンが小さくて押せない
  - 色や文字が見づらくて、すぐ閉じたいくなる...

こんな風になってはもったいない...



そこで大事になるのが、今回のテーマである「UI」・「UX」・「ユーザービリティ」。

◆UIとは?(ユーザーインターフェース)

→UI(User Interface)とは「( )・操作まわりのこと」。

ユーザーが実際に目にしたり、触れたりする部分。

- 例
- ボタンのデザイン
  - フォントや色の使い方
  - メニューの配置 etc...



## 「⑫レスポンスデザインとモバイルフレンドリー」

<レスポンスデザインとは？>

→ユーザーの( )サイズに応じて、Webサイトのレイアウトやデザインを自動的に調整する仕組みのこと。端末ごとに見やすく表示が切り替わるのがレスポンスデザイン。

<モバイルフレンドリーとは？>

→スマートフォンなどのモバイル端末で見たときに「( )使えるサイト」になっているか。

例

- 文字が小さすぎない
- ボタンがタップしやすい
- 片手でも操作しやすい配置
- スクロールや操作がスムーズ etc...

<レスポンスデザインとモバイルフレンドリーが大切な理由>

重要な理由 ( 1. ( )の向上  
2. ( )対策にも有利



◆①ユーザービリティの向上

→多くの人からスマートフォンからWebサイトを閲覧して

いるため、どんな端末からアクセスしても読みやすく、操作しやすい状態にしておく必要がある。そうすることで、ユーザービリティ(使いやすさ)が向上する。

Point!! ※見やすく、使いやすいサイトを作ることが、ユーザーとの( )にも繋がる。

◆②SEO対策にも有利

→Googleも「モバイルファースト」を推進しており、スマホでも( )に閲覧できるサイトを評価している。

つまり、レスポンスでモバイルフレンドリーなサイトは、検索結果で上位に表示されやすくなる(=SEO対策にも効果的)ということ。

<初心者でもできる「モバイルフレンドリー」なコンテンツづくり>

◆①改行を入れすぎない

→パソコンでは読みやすくて、スマホで見ると行間が詰まって読みにくくなることもある。

1文1段落を意識して、( )をうまく使うのがコツ。

◆②文字サイズ・余白を意識する

→スマホでは特に「読みやすさ」が重要。

“少し大きめ＆スッキリ配置”がスマホではちょうどいい感覚。

◆③片手で操作しやすいUI

Point!! →スマホでは片手で操作する人も多いので、( )が届く範囲にボタンやメニューを配置する。



## 「Web制作で稼ぐ6ステップ(ロードマップ確認)」



ここまで進めていただきありがとうございます。「Web制作の学習が楽しい!」と感じてくださった方は、ステップアップ方法もご確認ください。

(副業から徐々に本業にしたい方向けのロードマップです!)



### <Web制作で月20万円稼げるようになるまでの【6つのステップ】>

#### ◆STEP①: Web制作の基礎知識を学ぶ

→まずは、「Web制作の基礎」を学びましょう。いきなりサイトを作ろうとしても、「なんのためにこの作業が必要なの?」と疑問に思い進まないですよね?

そのため、Web制作やWordPressの概要を学べます。

**Point!** ※ここまでをこのテキストで学んでいただきました!

ここからは、ブログのロードマップでもご紹介しているおすすめのステップを紹介します。

#### ◆STEP②: WordPress操作に慣れる

→Web制作の基礎知識が学べたら、難しいことは考えずに、まずはWordPressの操作に慣れることをおすすめします。WordPressの無料テーマを使って、Webサイトを1つ完成させてみると自信に繋がるのでおすすめです。

#### ◆STEP③: クライアントワークを想定してWebサイトを作れるようになる

→STEP②では「とにかく慣れる」ことを重視したため、実際にお客様へどのような対応をしたら良いのか、具体的にはわからないままです。

STEP③では、「お客様へのヒアリングをどう進めながらWebサイトを制作していくか?」という実践的な部分を学ぶのが

おすすめです。



#### ◆STEP④: 仕事を取る準備をする(事業サイト制作)

→サイトの作り方を学んだら、初案件に向けての準備として「自身の“事業サイト”(ポートフォリオサイト)」を作りましょう。

事業サイトに「やりたいこと・できること・作品の提示」などを載せておけば、案件対応時に便利です。

#### ◆STEP⑤: ココナラで初案件を達成する

→準備ができたら、いよいよココナラで仕事を取ってみましょう。「ココナラはおすすめしないという発信をよく見るんだけど…」と思う方もいるかも知れませんが、ここは飽くまで実績作りの場として活用していくというイメージです。

また、自身のサービスをサイト内に置いておくだけでも問合せをいただくチャンスを作ることに繋がるので、先入観を持たずにチャレンジしてみることをおすすめします。

#### ◆STEP⑥: 月に20万円を達成する

→STEP⑤で初案件獲得を達成したら、サイト制作やクライアントワークの流れは体感的に分かってきます。よって、次は単価UPを図ったり、クラウドソーシングサイトから飛び出して、リアルな世界で営業をしてみましょう。

顧客が付いてくると月に20万円~を目標にでき、フリーランスへの道が見えてきます。

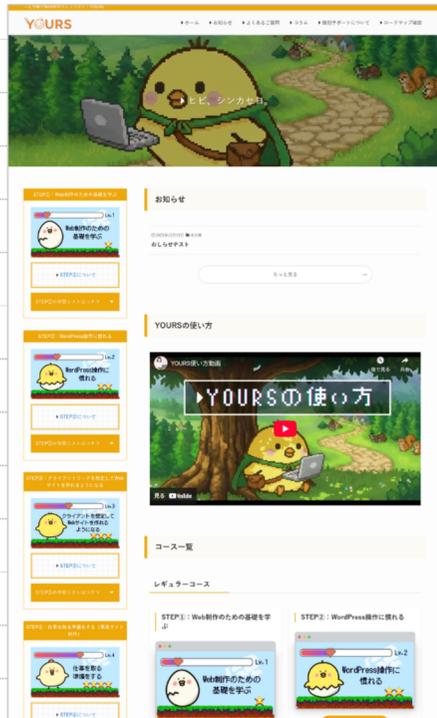


## <独学応援学習サイト【YOURS(ユアーズ)】のご案内>

◆6つのステップ+αが買い切りで学べる

「ゲームみたいに楽しく学習してほしい」という願いを  
込めたデザインにしました。↓

→STEP①までは無料でブログ公開をしています  
が、STEP②以降のお伝えの仕方をずっと迷って  
いました。Brain(<https://brain-market.com/>)で  
公開していたのですが、「体系的に学べない」・  
「見づらい」などのモヤモヤがあり、この度自分で  
学習サイトを作りました!



Point

- 1回の購入ですべて閲覧できる(notサブスク)
- 価格は業界最安レベル
- 技術面～案件の取り方まですべて解説
- 独学向けの教材なので自分のペースで学べる
- コンテンツは都度更新される
- 分からないことはラインで質問できる

◆詳しくはブログから

→YOURSについて詳しく知りたい方は、

<https://ouch-de-work30.com/yours-lp/>をご覧ください

QRコードはこちら↓



<https://ouch-de-work30.com/yours-lp/>

価格や内容を知りたいだけなのに、煩わしい面談やセミナーなどはありません。  
ブログに「使い方説明」から「価格」、「購入リンク」まで全て載っています。  
※もちろん、ご質問がある方はLINEからお問い合わせいただいても大丈夫です^^)



MEMO